

中間支援組織

グループ2 (市民活動団体+事業者)

ボランティアセンター → 市民活動のための施設に
実績を重ねながら広げていく

ボランティア



福祉のイメージ

実際に需要がある



福祉に特化

養成 → 登録

公民館

サークル活動

情報 = 「中間」

かたよらない

“サポートセンター”

“情報センター”

が欲しい

「つなぐ」施設

情報を集めて発信する

情報センター

市の役割は？

担当課との連携

（市民協働）

近い場所

市民 → 目指して立ち上げる

準備期間が必要

人材の発掘

- 団塊の世代（エンジニアなど）
- 若い人
- コミュニケーションに長けた人

巻き込んでいく

（各分野の人を）

いずれ

情報の出入り口になる

ボランティアセンターのイメージ

ボランティアという名称ではなく

人とつなぐ

（支援できる）

人材の発掘

判断できる人材が必要では

理解、整理 → いろいろな分野から

市の市民協働の進め方

「市民協働推進係」

公共サービス  行政が提供

 ○年後には

人口減少、財源がなくなる！

自分でできることは自分で
という時代に